

コロナ禍を超えて!

札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部
同窓会 静華会 会長 柳本 朋子



盛夏を迎える候となりましたが会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃より静華会の活動に対しご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今年度も同窓会の活動を開始し、去る6月25日(日)に4年ぶりに対面で開催されました各期代表幹事・各支部長・各学科長会におきまして、決算、活動計画など全ての提出議案は満場一致のご承認をいただきました。役員一同力を合わせ引き続き同窓生、大学・短大、在学生への支援活動を行ってまいります。今年度は、教職員の方々のご尽力により、道内外そして海外からの新入生も増えたことを

心強く感じ、大学・短大の更なる飛躍を願っております。

新型コロナウイルス感染症も5月8日以降位置づけが変わったことから、当会の活動についても従来の状態に徐々に近づけ更に範囲を広げて行きたいと考えております。働き方改革などが言われている今日この頃、新しい感覚で行事を進めて行くために若い方の静華会活動への積極的な参加をお願い致します。

まずは、昨年好評でした「ランチ会」を今年度も9月3日(日)に開催しようと計画しております。会場の都合上人数の制限はありますが、楽しい会にしたいと思いますので、同封の別紙によりご参加ください。

今後とも静華会に対し、より一層のご支援・ご協力とともに温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

楽しくなければ大学ではない

札幌国際大学
学 長 蔵満 保 幸



新型コロナウイルスの5類移行により、大学もかつての状況に戻りつつあります。教室や談話室等のアクリルのパーティションが撤去され、見た目にも広く明るくなりました。学生達も集団で語り合い、楽しく食事をする姿が多く

みられます。講義、演習、実技などの授業もコロナ以前と同じように実施されています。

昨年度から「コクサイ Reborn」をスローガンに様々な改革を進めてきました。今年度もそれを継続していきますが、「楽しくなければ大学ではない」をモットーに学生が主体的、協働的に学び、その学びを通じて自分の新たな可能性をみつければ卒業後も伸びる人材を育てていきます。

昨年度新設した国際教養学科の多文化言語コースでは、昨年と同様にクォーター制の元、1年生30名全員が4月から6月まで語学を中心に学び、7月1日から9月3日まで9週間カナダバンクーバーに短期留学します。現2年生は昨年留学後大きく成長して帰国しました。1年生の成長に期待したいですね。

観光学部は、観光業がインバウンド需要、国内の旅行需要の高まりなど回復傾向にあり、優秀な観光人材の輩出が望まれています。そのような中、4月からJALの職員が講師を務める共同授業を開始し、「航空演習」や空港でのフィールドワーク、「グランドスタッフ実務」など担当します。またコープトラベルとも包括連携協定を締結、「北海道の食をテーマとしたボランティアツアー」の企画に参画し、道内外海外からも参加者を募るような取り組みをスタートします。

スポーツ人間学部は総合型地域スポーツクラブ(SIU スポーツクラブ)を更に充実させ、清田区の高齢者から子どもまでの健康づくりや地域づくりの拠点として活動します。またエスコンフィールドを擁する北広島市と包括連携協定を締結、ベースボールパークを中心としたまちづくりに学生も参加し学びを深めます。

大学内にとどまらず多くの自治体、企業、地域をフィールドに学生たちの学びや活躍の場を広げていきます。これからも明るく、動ける、社会で伸びていく人材を育成していきます。

同窓生の皆様も健康第一で元気で活躍されますよう祈念致します。今後も母校を見守りご支援ください。

コロナ禍を乗り越えて 明日へ

札幌国際大学短期大学部
学 長 平野 良 明



2023年5月、3年にも及ぶコロナ禍が5類移行となり、国は当感染症と向き合う私たちの暮らしに方向性を示すとともに覚悟をも喚起しました。振り返ると団塊世代の私が育った1950年代から60年代、少なくなったとはいえ結核が身近にあり、ポリオ(小児麻痺)も恐ろしい感染症でした。また麻疹(はしか)、風疹、水痘などはインフルエンザと共に集団発生し、学級・学年・学校閉鎖となって私たちの生活を脅かしてきました。しかし、この度のコロナ禍はこれまでに経験したことのない不安感を私たち人類にもたらす恐ろしい感染症であったと今、改めて感じているところです。

短大は学位記授与式(卒業式)・入学式を中止や縮小にせざるを得ず、この春の卒業生は高校3年目から短大卒業までがまるまるコロナ禍と重なった学生生活を過ごす世代となってしまいました。しかし、この3月、親も参列しての学位記授与式を行うことができたことは卒業生・親・そして私たち教職員にとって久々の喜びでありました。マスクを取った笑顔の記念写真、その撮影に歓声がこだましました。

年度が替わって4月、私が本学に赴任して最初の教え子が「65歳、定年になりました」と報告してくれました。その後さらに5年後輩から「小樽での校長を最期に定年となり、4月からは市内清田区の小学校で再任用になっています」という葉書もいただきました。

18歳人口が激減し、北海道内の短期大学も1校、また1校と姿を消していく中で、折々に卒業生からの報告を受けながら「静修時代からの伝統の灯は消さない」との想いに至り、特に短期大学の教員は質の高い短期大学教育と学生募集に力を尽くしています。

5月8日、連休中のトラブルで使用停止にしたカード再発行手続きのため、清田区内のH銀行に出向きました。諸手続きをしていたところ「センセ」と声をかけてくれたベテラン行員は「生活の卒業生です」と名乗ってくれました。不正利用を察する私の手続きを笑顔で助けてくれた上に「私の妹も生活のT先生ゼミを卒業し今はD銀行で働いています」「お世話になった先生によろしくお伝えください」と旧姓も教えてくれました。

いくつになっても、母校に近況を伝えてくれる卒業生、ちょっとした出先で声をかけてくれる卒業生、このような多くの卒業生の支えと応援を受け、私たち教職員は短大の学生増に向け、全力を尽くします。どうか今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

近隣の高校生・中学生とそのご家族にも札幌国際大学短期大学部が「共学の短大」になったことを含めて、広報にご協力くださるよう重ねてお願いいたします。

【ミクニサッポロ ランチ会のご案内】

2023年9月3日(日)ミクニサッポロにおきまして、同窓会主催のランチ会を開催いたします。
同窓生の皆様へ今回も楽しい時間をご提供できればと思います。詳しい内容や申し込み方法は別紙でご確認ください。

同窓会子女入学に関する制度【入学金減免制度】

※詳細は大学HPをご覧ください。

- 申請資格 二親等以内の血族が本学に在籍又は本学を卒業している者
- 申請方法 入学手続き時に資格要件を記入のうえ申請
- 減免方法 入学当初、一旦入学金をお支払いいただき、秋学期授業料納付時に入学金相当額(23万円)を免除する

ミクニサッポロ 同窓会ランチ会開催



秋の青空が広がる9月4日、札幌駅にあるミクニサッポロを貸し切った同窓会主催のランチ会が行われ、63名の同窓生が3年ぶりに集いました。いつもは女性や短大卒業生が多くご参加いただいておりますが、今回は男性の方、大学卒業の方、つい数年前に卒業をされたばかりの方、初めて同窓会にご参加の方も多く来ていただきました。

札幌でも評判のフレンチ料理店ということもあり、出てくるお料理はどれも素晴らしいものばかりでした。駅前のビルの高層階ということもあり景色も美しく、なんといっても久しぶりに再会できたという旧友との会話がどのテーブルでも弾んでいました。

途中、役員より自己紹介と簡単な挨拶をし、今後の同窓会の開催についてご案内などをいたしました。役員をしても会員の皆様と直接話す機会は少ないのですが、自己紹介をしたことで声をかけていただき、帰り際には皆様から貴重な感想などを頂戴することもできました。

今回はまだまだ油断のできないコロナ禍での開催ということで、消毒や検温など多くのご協力への感謝と席数の制限によりお申込みいただけなかった方々には大変申し訳なく感じております。世の中が少しでも今までのように集えるようになることを祈りつつ、同窓会ではこれからも会員の皆さんに楽しんでいただけるような企画を計画して参りますのでぜひご参加をお待ちしております。



～ご参加の方より～

●ミクニランチ、見た目もキレイで楽しめたし、お味もすごくおいしくて最高でした。非日常的な時間を過ごすことが出来て、お腹も心も大満足です。是非また参加させていただきたいと思います。楽しみにしています♪(短大総合生活学科30期)

●本日は素敵な時間を過ごさせていただきありがとうございました。女性が多い会という事もあり、お料理の量も多すぎず、色彩豊かなパルフェや香ばしい海老のポアレに心が躍りました。またお野菜も旨味を感じられる調理でした。子育てや仕事で多忙な毎日の中、親しい友人とゆっくり会話を楽しみながら食事ができた事に感謝の気持ちでいっぱいです。また機会があれば参加したいです。(短大幼児教育学科27期)

●沢山の諸先輩方や後輩の方たちと一緒に顔を合わせる機会はなかなかないので、今回初めて参加をさせて頂き、国際の歴史を感じました。会の間は学生時代からの友人と近況報告を交えながら、ゆっくりミクニさんのおいしい料理を堪能でき、とても楽しい時間でした。会長をはじめ、役員の方々にはこのようなご時世の中、沢山の配慮の元、開催して頂き大変感謝しております。次もまたぜひ参加させて頂きたいと思います。とても楽しみです。ありがとうございました。(短大幼児教育学科27期)

●コロナ禍で様々な行事が、中止・延期の中3年ぶりに届いた「ランチ会」のご案内!同期と連絡を取り参加を

させて頂きました。ひさびさの友との対話、そして卒業生に対し美味しいお料理大満足でした。抑え気味の歓談の中に「嬉しさ」と「懐かしさ」あふれる和やかな『会』でした。とてもリフレッシュできました。日頃の役員としての様々な取り組みや活動の様子も聞けました。創立55周年祝賀会にむけ活動をしているとか…とても楽しみにしています!!。役員の皆様のご苦勞に感謝しつつ、更なる母校の発展の為へのご尽力をよろしくお願い致します。素敵な一日をありがとうございました。(短大家政学科4期)

●先日は食事会の企画ありがとうございました。久々に友人達と同じテーブルをかこい楽しい話をする事ができました。食事も大変おいしく、すごく楽しい時間になりました。2時間の食事で駅前で開催だったので他の皆さんも参加しやすかったのではないかと思います。次回も楽しみにしています。(短大家政学科1期)

●卒業して12年目で初めて参加しました。仕事や結婚による転居が7回あり、住所変更すらできていませんでした。これが原因で静華会から遠ざかっていたのだと思います。参加して一番驚いたことは、同世代がいないことです。学生時代共に学び楽しめた「仲間」はもちろん、私達より前から学んできた先輩方の「大切さ」を、卒業から12年経った今、ようやく財産だと気づき始めました。だから同窓会に参加して、自分の人生での財産を体で感じたいと思ったのです。また、世代が違っても「同じところで学んだ」という共通点だけで、すごい信

頼感が持てると感じました。実際に先輩方はとても温厚で丁寧に接していただき、初対面とは思えないくらい親切でした。この接し方を私たちの世代も、さらに下の世代にどんどん繋げていく役割があると思いました。若い頃はいろんな人から応援されていました。今は少しずつ応援したい子が増えてきています。応援されてばかりの身だったのに、今では応援する身になっているのです。私も成長を感じました。また機会があったらぜひ参加をさせてください。(大学観光学部国際観光学科15期)

●今回初めて参加させて頂きました。日頃は子育てや仕事に追われて自分の時間がゆっくり取れないのですが、久しぶりに大学時代の友人と美味しいお食事をゆっくりと頂きながらもあつという間のひとときでした。次回もぜひ参加させて頂きたいです。色々な世代が頂いた役員の皆様ありがとうございました。(大学人文・社会学部国際文化学科1期)

●社会に出て10年、人脉を広げる難しさを度々感じます。ですが、母校の繋がりのというのは不思議なものです。世代が違っても「同じ学校に通っていた」というだけで、こんなにも和気藹々と話ができるものかと驚きました。今回参加された世代では、自分の世代が圧倒的に少なく、また、性別的にもマイノリティ(男性少ない)の自分が参加する事で、少数派である層の方々が参加しやすい雰囲気作りには貢献出来ればと感じました。(大学観光学部国際観光学科15期)

ふるさと納税で母校をご支援ください!

札幌市において、ふるさと納税の寄付先として支援先の大学を指定することができる「大学応援プロジェクト」が始まり、本学(母校)も支援先大学として指定が可能となりました。

個人の方からのご寄付については、「ふるさとチョイス」からの申し込みも可能です。詳しくは、札幌市Webサイトをご覧ください(札幌市在住の方は返戻品はありません)。是非、ふるさと納税を通じた本学(母校)へのご支援をよろしくお願いします。



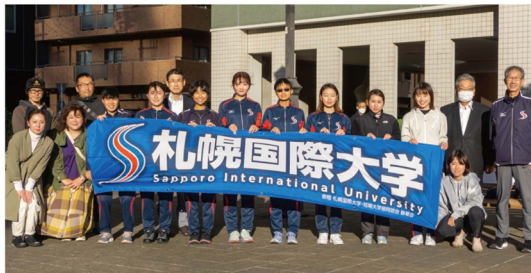
3年ぶり現地で駅伝部応援!

第40回全日本大学女子駅伝対校選手権が10月30日に仙台市で開催され、札幌国際大学女子駅伝部が6年連続6度目となる弘進ゴムアスリートパーク仙台～仙台市役所前市民広場(6区間38.1キロ)に挑みました。

役員も3年ぶりに大学応援団として同行させていただきこととなり現地での応援をしてまいりました。今年度もコロナ禍のため声援などの制限がありましたが、昨年同窓会より寄贈した横断幕を掲げエールを送りました。当日は天候に恵まれ紅葉が進む青空の下、選手た

ちは起伏の激しい仙台的コースを懸命に走っており、日々の練習を十分に発揮しておりました。

沿道にてボラン



ティアの方とお話する機会があり、毎年この大会を楽しみに参加していると教えていただきました。無事大会が開催できるのも関係者、警察、警備、沢山の地元ボランティアの方々、支えてくださる人達のおかげだと再認識いたしました。

同窓会はこれからもスポーツに限らず学生の活動の支援をしていきたいと思っています。

同窓会では現役学生への支援も行っています

ハンドベル部支援報告

ハンドベルを演奏する際に使用するテーブルクロスの購入を支援いたしました。

長年で指導していた林先生が引退の節目ともなる1月に行われた定期演奏会の際に使用されました。これからも現役学生だけでなく同窓生メンバーとして活動していらっしゃる方々も素敵な音色を奏でいただきたいですね。



学生応援金授与報告

静華会では、素晴らしい活動と成果を出した団体、現役学生の方に今後の活躍を応援することを目的に「学生応援金」の制度があります。

大学より推薦された個人・団体の中より役員一同での協議のもとに2022年度に授与したのは5団体と個人別で10名となりました。

【団体】

女子駅伝部 第40回全日本大学女子駅伝対校選手権26位
女子ハンドボール部 北海道学生ハンドボール秋季リーグ戦優勝
氷上部男子カーリング部門 アドヴィックスカップ2022優勝
卓球部 全日本大学総合卓球選手権大会 女子団体優勝 男子団体準優勝
軟式野球部 創部初2部昇格

【個人】

女子野球部 全日本大学女子硬式野球選抜強化プログラム2022に選抜
工藤里菜さん・小松海月さん
卓球部 全日本大学総合卓球選手権大会シングルス優勝 国田広也さん・高リノカさん
全日本大学総合卓球選手権大会ダブルス優勝 大谷龍二さん・清水祥喜さん・
杉山晴菜さん・高リノカさん
氷上部アイスホッケー部門 女子世界選手権日本代表メンバーとして出場 佐々木愛実さん・増原海夕さん
その他 韓国語弁論大会金賞 山美奏葉さん



韓国語弁論大会金賞
山美奏葉さん

全日本大学女子硬式野球選抜
強化プログラム2022に選抜
工藤里菜さん・小松海月さん

全国制覇



学生活動

今後の予定につきましては大学ホームページにてお知らせいたします

※札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部ホームページアドレス <https://www.siu.ac.jp/>

会計報告 2022年度会計収支明細表 (単位:円)

2023年3月31日現在

収入の部		銀行手数料	10,780
科 目	金 額	(2)会議費	1,000,622
繰越金	20,103,125	行事費	791,240
入会金	6,870,000	幹事会・役員会	209,382
同窓会収入	253,500	(3)事業費	3,227,613
預金利息	87	会報発行費	373,793
合 計	27,226,712	卒業記念費	662,310
		慶弔費	107,110
支出の部		名簿管理費	224,400
科 目	金 額	学生支援金	1,500,000
(1)事務費	2,889,141	学生応援金	360,000
報酬費	386,650	メンテナンス費	0
事務用品費	1,068,564	(4)その他	0
通信費	1,237,449	(5)周年行事積立金	0
リース代	95,868	(6)予備費	0
交通・出張旅費	89,830	合 計	7,117,376

卒業記念図書カード

毎年卒業記念品として図書カードを贈呈しています。その年毎に自由なテーマで同窓会の新幹事に記念として制作を依頼しています。
今年度は人文学部現代文化学科の高橋美里さん(大学26期)に描いていただきました。



役員一覧

会 長 柳本 朋子 (短大4期)旧姓奥野	会 計 山田みちよ (大学1期)旧姓石田	会計監査 杉山 大輔 (大学15期)
副会長 若生 喜実 (大学7期)	広 報 宮北 勝太 (大学15期)	会計監査 林 美穂 (大学18期)旧姓久島
副会長 船木 沙織 (大学6期)旧姓神戸	広 報 櫻田 陽子 (大学5期)	書 記 山本 真央 (大学21期)
会 計 太田名保美 (大学9期)		

2022年度 静華会活動報告

5月13日	理事長、学長、事務局長へ新年度ご挨拶
6月26日	代表幹事会(各期代表幹事・各支部長・各学科長) 新型コロナウイルス対策として委任状にて承認
7月1日	会報誌「静華」発行
9月4日	同窓会ランチ会開催(ミクニサッポロ)
9月29日	第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会応援(仙台)
12月18日	新幹事会 学生応援金授与 (女子駅伝部・女子ハンドボール部・卓球部・軟式野球部)
3月5日	卒業記念品封入作業 学生応援金授与(氷上部男子カーリング部門)
3月15日	学位記授与式出席

※毎月1回程度の役員会を開催しました
※学生応援金授与に欠席された方へは大学を通して授与を行っております

退職された先生

佐藤 徹男	先生(人文学部心理学科臨床心理専攻)
中野 茂	先生(人文学部心理学科子ども心理専攻)
本間 芳文	先生(人文学部心理学科子ども心理専攻)
古田 和吉	先生(観光学部観光ビジネス学科)
吉田 和彦	先生(観光学部観光ビジネス学科)
千葉 里美	先生(観光学部観光ビジネス学科)
西 大輔	先生(スポーツ人間学部スポーツビジネス学科)
大塚 吉則	先生(スポーツ人間学部スポーツ指導学科)
森 順子	先生(総合生活キャリア学科)
高橋由美子	先生(幼児教育保育学科)

編集後記

今回の会報誌はいかがでしたか?昨年は3年ぶりの同窓会の開催となり、久しぶりに同窓生の皆様とお会いし楽しんで頂けた様子を見て役員一同安堵しておりました。発行にあたり多くの皆様のご協力をいただき感謝いたします。これからも会報誌を通じて同窓生の皆様と母校の懸け橋になるような紙面を作ってまいります。

お願い

静華会では、同窓生の個人情報を厳重に取り扱い、適正な管理を行います。ご提供いただいた情報は、同窓会会員の管理および同窓会の運営、同窓会組織の交流活性化に役立てる目的で使用します。

- 市町村合併や転居による住所の変更
- その他変更(お名前・電話番号の変更や死亡の場合など)がありましたら、同窓会事務局までご一報ください。

〒004-8602 札幌市清田区清田4条1丁目4番1号 札幌国際大学内 静華会 行

- メールでの変更手続きも可能です。
dousoukaiseika@titan.ocn.ne.jp

同封の葉書の記載内容と同じ項目を明記してください。

※個人情報保護のため、必ず「静華会行」と明記してください。

◆会報誌へのご意見・ご感想をお寄せください。



会報誌は大学ホームページ
「同窓会静華」のボタンより
閲覧が可能です



もしくは右記QRコードより静華会ページへ
<https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=50>